



令和3年8月から、精神科の小山毅先生が当院の常勤医となりました。小山先生は、主に2病棟の患者様を担当して頂きます。よろしくお願ひします。ここでは、小山先生からの自己紹介を掲載させていただきます。



はじめまして。精神科臨床に携わって31年目となりましたが、これまで私が精神科医として考え続けてきたことについて少しだけお話しさせていただき、ご挨拶に代えさせていただきます。

それは、「当事者本位の精神科医療はいかにして可能か」ということです。近年普及しつつある「共同意思決定 shared decision making (SDM)」という考え方は、この問いに対するひとつの回答ではないかと思われま

す。大昔の「ムンテラ (ムント・セラピー：口療法)」では当事者が萎縮し、その後の「IC (インフォームド・コンセント：説明を受けた上での同意)」では逆に医療者が萎縮してしまうこともあったと言われています。これに対して共同意思決定では、当事者と医療者が対等の立場でともに納得のいくまで相談し、治療方針を共同で決定していきます。そこでは、医療者は一方的に診断を宣告し治療を通告する者ではなく、当事者を共感的に理解し、病状を医学的に説明し、治療の選択肢を示し、なかでも勧められる治療を提案する者です。また当事者は、単に医療者からの提案に同意しそれに許可を与えるというにとどまらず、自己実現へ向けてその提案をみずから選び取る主体です。このプロセスは必ずしもとんとん拍子に進むとは限りません。しかしそれでも、とにかく納得のいくまで相談を続けていくと、当初の医学的提案にはいわばオーダーメイド的な修正が加わっていき、当事者にふさわしい形が徐々に見えてくるのです。

そうした共同意思決定プロセスを経て形成されるのは、医療者による通告でも当事者による許可でもない「合意」です。その合意には、当事者と医療者の双方にとっての揺るぎない納得感が伴うに違いありません。そして、共有されたその納得感が駆動力となって、当事者のQOL (クオリティ・オブ・ライフ：生活ないし人生の質) の充実がもたらされるのではないのでしょうか。

非力ながら私はこれからも、「共同意思決定の尊重」をモットーに診療を続けていく所存です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



# 下総つうしん

令和3年10月1日  
医療法人社団 踏青会 下総病院  
千葉県八千代市米本2472-2  
047-488-2135

## コロナウイルス感染症に伴うお知らせ

この度、当院におきまして新型コロナウイルス感染症の院内クラスターが発生した事により、患者様、ご家族の皆様をはじめ多くの方にご心配、ご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

所轄保健所の指示のもと、経過を見てきましたが、新たな感染者は確認されず、9月10日をもって健康観察期間が終了したことを改めてご報告させていただきます。患者様、ご家族様のご協力に感謝申し上げます。

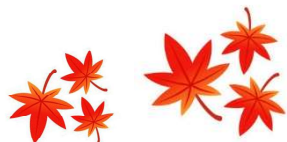
また、10月4日(月)より、予約制での面会を再開致します。詳細は同封の「面会再開のお知らせ」をご確認いただければと思います。

当院では、今後も患者様が安心して療養できるよう、職員一同細心の注意を払い、感染防止に努めて参ります。今後とも、ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひ致します。

## 衣替えのお願い

早いもの今年も10月となり、気持ちよい秋晴れの日が空がとても高く感じられます。日中はまだまだ暑い日もありますが朝晩はだいぶ涼しくなりました。

当院では衣類など荷物の保管場所に限りがあるため、季節ごとに衣類の交換をお願いしています。秋冬物の衣類がご自宅にある方は、当院まで持ってきて頂けるようお願い致します。その際、夏物の衣類をご自宅に持って帰って頂き、衣類の整理をお願い致します。中には衣類が傷んでいたりと、体型や体調の変化などから以前着ていたものが合わなくなった方もいらっしゃいます。病院からご家族へ衣類交換や、新しい衣類の依頼などのご連絡をする場合もありますので、よろしくお願い致します。



## インフルエンザ予防接種のお知らせ

当院では今年もインフルエンザの予防対策として患者さんに予防接種を行う予定です。接種の時期は11月頃を予定していますが、予防接種は保険の対象とならないため、各自1,650円(薬品購入費として)自己負担がかかります。なお、費用につきましては小遣い金から引かせて頂きますので、改めての送金は必要ありません。

また、市町村によっては指定を受けた医療機関で予防接種を受ける際、負担金の助成制度を利用できる場合があります。助成制度については各市町村にてご確認下さい。

何かご不明点ありましたら、医療相談室までご連絡下さい。

医療相談室直通TEL 047-488-2107



## ハロウィン飾り付け

気が付けば、夏も終わり季節は秋ですね。コロナ禍による自粛で季節感を感じにくい生活が続いていますが、カレンダーを見て、もう10月を迎えていることに驚きでした。

病棟の飾り付けを掲載します。病棟職員が作る飾り付けのレベルが年々上がってきており、病院の中だけに飾っておくのが勿体ない作品も多くありました。



### 編集後記

朝晩の空気が涼しくなり、秋らしく過ごしやすい気候になってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の夏は東京でオリンピック・パラリンピックが開催されました。コロナ禍での開催ということもあり、問題点や盛り上がりには欠けたところもありましたが、とりあえずやってみれば何とかできるの精神で乗り切ったようにみえたところが個人的には良かったです。

今月から緊急事態宣言が解除され、当院でも患者様の院内散歩や面会が再開されるようになりました。以前のようにとはいかないまでも、引き続き感染対策をしながら、コロナの流行が収束に向かっていくことを願っています。

医療相談室 関屋 杉崎 浜野 星野